



屋外に並ぶ新旧2体の首地蔵。左が昭和の首地蔵で女性のよくな優しい顔立ちをしている

頭痛などの治癒を祈願



宝塚市小浜は有馬街道、西宮街道(馬街道)、京伏見街道が交差し宿場町として栄えた。市立小浜小学校の西側を通る馬街道を西に下った高台に、顔の部分しかない2体の地蔵尊が祀られている。これが「小浜の首地蔵」である。首地蔵は大昔、小浜が浜辺であった頃に打ち上げられたとか、伊丹の殿様が持病の頭痛を治してもらったお礼に刻んだなどの諸説があるが定かでない。

もともと首地蔵は街道沿いの墓地の敷にあったものを、地元の人が今の場所

小浜の首地蔵

場所に運んだ。お堂を建て安置しようとしたところ、大工が病気になった。代わり頼んだ大工も病気にかかったことから「お堂に入ることを嫌なのだろ」ということになり、雨ざらしのまま、お祀りしたと伝えられている。地元には「首から上の病気は治してもらえぬ地蔵さん」という言い伝えがあり、全国から参拝者があるという。最近では合格祈願に来る受験生も多いという。



写真・文 山田哲也

はんしん2000s